



## 里親大作戦 6年目 ヒマワリ最盛期!



### たががヒマワリ されどヒマワリ 気付がされた栽培の奥深さ

今年は昨年と同じ“ロシア（ジャンボ）ヒマワリ”の種を5月20日に種を蒔き、6月13日花壇に定植しました。7月26日に第一号が開花。以来、次々に天を仰ぐ黄色の花びらが増し、8月1日現在元気に咲きそろってきています。でもその成長過程では毎年心配の種が尽きません。

昨年は種まき後なかなか本葉が出ず、異様なヒョロヒョロの苗になってオロオロ。種を購入した佐世保市の種苗店に相談したところ、どうやら種まき用のポットに土ではなくバーク堆肥を入れてしまったのが原因でした。花壇に定植すれば大丈夫との心強い回答の通り、その後は元気に花を咲かせてくれて一安心。

コロナ禍も2年目の今年、やはり里親大作戦とはいかず、スタッフ4人が各家庭で育てることにしました。

播種後2週間経ったある日、例年立派な苗を作ってくださいるサポーターの柴田さんが「今年は上手く育たないんだけど・・・」と心配そうな声。ところが定植日に持参してくださった苗は、見事に成長していて、私たちプロジェクトチームが育てたものと比べると格段の差にびっくり。

柴田さんに大きく育ったわけを聞いたところ、こんな答えが返ってきました。

- ◎配布のポットの大きさでは、1本を育てるのが限度です。
- ◎成長の良い方を残し1本立てにしたんです。
- ◎苗を二つに分ければ土も半分に減ってしまいます。土を足し、肥料も施しました。



長年花作りをしてきた  
柴田紀子さん（高森台）

1.5m くらいに成長した頃、下方の葉が枯れ始めました。蕾が小さいのも気がかり。この状況は肥料不足が招いた結果ではないかと思いインターネットで検索すると、肥料と水を不足させてはいけないとの記述。急いで液肥をやり、たっぷりの散水を心がけているところです。また園芸サイトには「地味に連作障害を起こす」「ロシアヒマワリは花期が短い」とも。今さらですが、花壇づくりの段階で元肥が足りなかったかもしれないと気付きました。来年こそは満足のいくヒマワリを育てたいものです。



### 猛暑の中 頑張っています!



遮熱性のある傘を背負う形。ちょっと人目を引きますが、思いのほか涼しいそうです。



ウエスト部分に扇風機を内蔵したベスト。ブーンという音は周囲の人にも涼し気に響くとか。かわいい柄の女性用もありました。



クラシックスタイル? 背中に小さめのすだれを背負っています。背中への直射日光は避けてくれそうです。

# 養楽福祉会「café はなもも」開店!

社会福祉法人養楽福祉会の新施設「障害福祉サービス事業所 たかもり」が高森台中学の北側道路を挟んで造られました。その施設群は、広々とした敷地にゆったりと建てられ、開放的。

地域の人と気軽に交流したい、と「café はなもも」は作られたのですが、このコロナ禍です。オープンタイミングを見計らって、ようやく8月2日に開店しました。

当会では、既に養楽荘の敷地内でハナモモの植栽を行いましたし、カフェ以外にも「グループホーム花桃」と命名された施設もあります。私たちとしても親近感が持てます。今後も一緒に地域づくりをしたいと考えています。



入り口の看板は利用者さんたちが作ったものです。明るく可愛いデザインは、きっと地域の方たちに注目されるはず。



店内の壁面には、目を引く装飾や施設利用者さんの絵や作品がたくさん飾られています。

大きな窓からは西高森山の緑をのぞむことができます。その借景に心癒されます。



感染防止のため席数は少なめで「来店は2名まででお願いします」の貼り紙も。

「緊急事態宣言やまん延防止等重点措置に振り回され、やっと開店にこぎつけました。これからも県で宣言や措置が出されたらすぐ休業しなければ

ならない綱渡りの状態ですが、地域のくつろぎスペースとして多くの人に利用していただきたいと思っています」と小原伸二所長。

広い駐車場も完備。お洒落な外観の入り口右側にはハナモモの幼木も植えられています。

(まん延防止等重点措置が解除されるまでは、飲み物のみの営業となりました。)



ランチメニューは3種類。系列の「キッチン高森」で丁寧に手作りされています。



café  
はなもも

開店・・・月～金10:00～16:00  
メニュー・・・ランチセット500円～  
ドリンク300円～  
お問い合わせ: 0568-27-7527



インビヨドリ (徒然野鳥記より転載)

場所は昨年植えた養楽荘さんのハナモモ植樹斜面。時は6月12日昼頃。

1羽は地面に1羽はハナモモの若木に留まっていた。全身濃いブルー。ハト位の大きさ。今まで見たこともない美しく珍しい鳥。

早速日本野鳥識別サイトへ問い合わせしたところ「インビヨドリ」ではないか、とのこと。もともとは磯 = 岩場の多い海岸地帯の崖地に生息する野鳥。最近では内陸にも進出し、特に近年は目撃談も増加しているらしい。姿も鳴き声も抜群にすばらしい。ブルーバードは幸せの鳥だ。桃源郷に青い鳥。なにかいいことがありそうな予感! (寺島)

珍しいお客様?  
良いことがあるかも!